



FACTBOOK 2026

カフェ英会話株式会社 ファクトブック

カフェ英会話株式会社
CAFE EIKAIWA



カフェ英会話

CAFÉ EIKAIWA Co., Ltd.

FACTBOOK 2026

カフェ英会話株式会社 ファクトブック

CONTENTS

Introduction 1

英語市場は「学びたいのに続かない」時代へ。
その中で急成長する「カフェ英会話」とは？

3

Introduction 2

「コミュニティ型 英会話サービス国内最大級」

4

ブランド紹介

5

代表取締役CEO紹介

7

会社概要

8



INTRODUCTION 1

英語市場は「学びたいのに続かない」時代へ。 その中で急成長する「カフェ英会話」とは？

英語・英会話市場は、AIと対面の二極化の局面へ

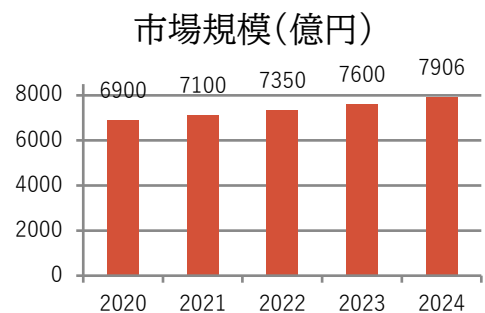
訪日客の急増、英語力課題、国家的リスクリング推進、そして生成AIの普及。いま英語学習は「必要だが、従来型では続かない」時代へ。その中で、気軽に参加でき、会話機会とコミュニティを提供するカフェ英会話の存在価値が高まっている。

英語を日常的に話す機会が足りないという課題感

日本の英語力はEF EPI 2025で123カ国・地域中96位、Speakingスコアは393。一方、インバウンドは2024年に過去最高の3,687万人、訪日客消費は8.1兆円へ拡大。「英語を使う必要性」は高まるのに、日常的に話す機会が足りない。カフェ英会話は、そのギャップを埋める“日常接点型”サービスとして成長余地が大きい。

[注] EF EPI 2025 日本の順位
出店：EF Education First / PR TIMES

「語学ビジネス」市場規模 推移※1



注1,事業者売上高ベース

出典：矢野経済研究所調べ
https://www.yano.co.jp/pressrelease/show/pres_s_id/3910?utm_source=chatgpt.com



INTRODUCTION 2

「コミュニティ型 英会話サービス国内最大級」

累計20万人突破！全国へ拡大中のカフェ英会話

カフェ英会話は、全国100カ所(東京・神奈川・千葉・埼玉・名古屋・大阪・神戸・福岡)のカフェで開催され、年間2万人以上が参加をする日本最大級の英会話コミュニティです。

日本人同士でレベル別(D・C・B・A・S)に分かれて会話するため、初心者でも安心して参加でき、自分のペースで英語力を伸ばせます。参加費は1回500円と続けやすく、実践的なアウトプットを気軽に増やせる点が特徴です。

カフェならではのリラックスした雰囲気ではじめ、学習目的はもちろん、交流や仲間づくりの場としても高い支持を集めています。

誕生秘話

代表取締役の西川がロンドンから留学後、帰国した。英語力が身についたという実感があるなかで、日本国内では英語を学ぶ場があっても、英語を話せる場所がなかった。「英語を学びたいわけではなく英語をアウトプットする場」がない。そんな風に思い、誰もが気軽にワンコインで英会話を楽しめる場として「カフェ英会話」が誕生した。



カフェ英会話

カフェ英 Native Group

カフェ英 Native Groupは、ネイティブ講師1名と日本人生徒最大5名による少人数制の実践型英会話セッションです。全国の雰囲気の良いカフェで参加できる対面セッションに加え、自宅から気軽に参加できるオンライン開催もご用意しています。対面では、表情・ジェスチャー・声のニュアンスなど、リアルな空気感の中で英語を使う臨場感を体感でき、英語への反応速度や自然な会話力が大きく向上します。一方オンラインでは、移動時間ゼロで参加でき、場所に縛られず全国どこからでも安定してアウトプット量を確保できるのが大きな魅力です。画面越しでも講師がしっかり会話をリードし、参加者全員が話せる構成になっています。少人数制のため、初心者でも安心して発言でき、「聞くだけ」で終わらないのが特長。1回1,500円で、対面でもオンラインでも、ネイティブ講師と「その場で通じる英語」を実践的に磨ける英会話サービスです。

カフェ英 Native Private

カフェ英 Native Privateは、ニーズに合わせて選べる「日常英会話コース」と「ビジネス英語コース」を提供するマンツーマン英会話サービスです。対面（全国のカフェ）とオンラインの両方に対応しており、ライフスタイルや学習目的に合わせて受講方法を選べます。対面レッスンでは、カフェというリラックスした空間で、ネイティブ講師と1対1のリアルな会話体験を通じて、発音・間の取り方・自然な言い回しまで体感的に学べます。実際の会話シーンに近い環境で練習できるため、「使える英語」を身につけたい方に最適です。一方オンラインレッスンでは、移動時間なく自宅やオフィスから受講でき、忙しい方でも継続しやすく、目的に直結した集中学習が可能です。日常会話の基礎から、実務で使える英語表現、プレゼンテーションや会議対応まで幅広くサポート。一人ひとりの目的やレベルに合わせてレッスン内容を柔軟に調整できるため、確実にスキルアップしたい方や、効率よく英語力を伸ばしたい方に最適なプライベート英会話サービスです。

カフェ英 Enterprise

カフェ英 Enterpriseは、企業の英語研修ニーズに特化した法人向け英会話プログラムです。年間2万人が参加するカフェ英会話のノウハウを活かし、実践的なアウトプット中心のカリキュラムを提供します。日常英会話からビジネス英語、プレゼン・ミーティング対策まで、目的に合わせて柔軟に設計できる点が特長です。ネイティブ講師によるレッスンは、対面・オンラインの双方に対応し、全国の企業研修として導入が可能。社員の英語力向上だけでなく、コミュニケーション活性化やグローバル業務の効率向上にも寄与します。人材育成を強化したい企業に最適の英語研修サービスです。

【コミュニティアプリ誕生】2026年1月ロンチ!会員数100人突破!

カフェ英 Fanz

カフェ英 Fanzは、英語をきっかけに“人生を変える出会い・学び・挑戦”が生まれる、日本最大級の英語コミュニティです。日本初の、英語を母国語とし日本語も話せるバイリンガルメンバーが運営し、英語に興味がある方なら誰でも安心して飛び込める環境を実現しています。交流会ではバイリンガルメンバーとリアルな英語に触れ、大手外資系企業の担当者からキャリアの最前線を学び、英検合格へ導く実践型セミナーやスピーチ部で着実にスキルアップ。さらにコーチングやスポーツイベントを通じ、“学びながら仲間ができる”唯一無二の場を提供します。英語を口実に、新しい自分、新しい仲間、新しい未来へ踏み出したい人のためのコミュニティです。

いま全ての人へ「英語の入口」を作るべき理由

①訪日外国人観光客が過去最高水準/日本の現場が一気に国際化2025年は訪日客が過去最高の約4,270万人(※1)消費額も約9.5兆円(※2)と報じられています。英語が必要になる場面は、空港・飲食・小売・観光地だけでなく、都市部の生活圏へも広がっています。さらに、政府は2030年に訪日客6,000万人・消費額15兆円という目標を掲げています。英語が一部のビジネスパーソンだけのものではない時代が、現実に進んでいます。

②一方で、英語は“必要なのに伸びない”：日本の英語力は国際的に低位EF英語能力指数（EF EPI）2025(※3)では、日本は123の非英語圏中で96位と報じられ、英語の話す力の底上げが社会課題として再び注目されています。「必要性は増えるのに、学習は続かない」——このギャップこそが、いま「入口」を再設計すべき理由です。

③学び直しが国家テーマに：個人のリスキリング支援は「5年間で1兆円」政府は所信表明演説で、個人のリスキリング支援を5年間で1兆円(※4)規模に拡充すると明記しています。学び直しが“自己責任の努力”から「社会の投資」へと移っています。ただし、現実には、学習は「教材」よりも「続く環境」のほうが難しい。だからこそ、コミュニティ設計が重要と考えました。

④生成AIの普及で「翻訳できる」時代へ。だからこそ“話せる/伝わる”が価値になる生成AI・機械翻訳の進化は、言語の壁を下げる一方で、語学や翻訳の需要構造を変えうることが議論されています。今求められるのは、単なる翻訳ではなく、「相手の意図を汲み、関係をつくり、場を回すコミュニケーション力」。その力は「人との実践」でしか育ちにくい。ここに、コミュニティ型英語学習の必然があります。

(※1)参照：https://www.into.go.jp/news/_files/20260121_1615.pdf

(※2)参照：https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_00071.htm

(※3)参照：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000068.000006252.html>

(※4)参照：

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/statement/2022/1003shoshinhyomei.html?utm_source=chatgpt.com

略歴

代表取締役 西川 良輔

1982年生まれ、兵庫県神戸市出身。

大学在学中にパイロットを目指しイギリスへ語学留学。滞英中に暴漢に襲われ、数か所刺されて緊急入院。

その際に病院や警察との会話で更なる高い英語力の必要性を痛感し、TOEICスコアを500点アップさせ955点に。

帰国後PHILIPS、Googleなどの外資系企業に勤務。気軽で低コストな「カフェ英会話♪」を立ち上げ、2018年（株）ステラー・コーポレーションとして法人化。ネイティブ講師によるグループレッスン・プライベートレッスンの提供も開始し事業を多角化。

英語教授法資格のTESOL取得。



目指すは提携店舗600店舗、年間100万人参加するコミュニティ

今後、10年以内に全国のカフェ600店舗と提携して、カフェ英会話やカフェ英Native Groupなどを拡大していきたいと考えています。

カフェがあるとところに、カフェ英会話があるというような環境になればいいなと思っています。

カフェ英会話は英会話を通して多くの方々との出会いがあることも1つの魅力です。

例えば、英語学習やスポーツを一緒にする友人、生涯のパートナーなどが見つかった方など、様々な出会いがあります。

これらの活動をオフラインだけに留まらず、オンラインの世界でも創っていききたいと考えています。

具体的には、カフェ英Fanzというコミュニティアプリを通してです。

カフェ英Fanzは全国のカフェ英会話の参加者同士がオンラインアプリを通して交流ができるように開発しました。

運営者が日本語と英語が話せるバイリンガルクルーが運営しているため、英語に興味がある方が気軽に参加できるプラットフォームでもあります。

ぜひ、英語に興味ある方は、カフェ英会話の世界にジョインしてみてください！英語力のレベルアップだけでなく様々な出会いが待っていると思います！

会社概要

カフェ英会話株式会社

設立 2018年（平成30）年10月
代表取締役 西川 良輔
従業員 250名（業務委託・ボランティアスタッフ含む）
本社 〒150-6090 東京都渋谷区恵比寿4-20-4
恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア
B1 PORTAL POINT -Ebisu-
経営体制 代表取締役CEO 西川 良輔
取締役CCO 大林 大輔



カフェ英会話ブランド一覧



カフェ英会話

¥500 / 回
全国100拠点・年間2万人参加。日本人同士レベル別（D～S）5段階クラス制の英会話コミュニティ

カフェ英 Native Group

¥1,500 / 回
ネイティブ講師×最大5名の少人数制。対面＆オンライン両対応の実践型セッション

カフェ英 Native Private

マンツーマン
日常～ビジネス英語の2コース。対面カフェ＆オンラインで柔軟に受講可能

カフェ英 Enterprise

法人向け研修
年間2万人規模のノウハウを活用したアウトプット中心の企業英語研修プログラム

カフェ英 Fanz

コミュニティアプリ
日英バイリンガル運営。英語をきっかけに出会い・学び・挑戦が生まれる日本最大級の英語コミュニティ



各種ロゴ素材ダウンロードURL

<https://cafeikaiwa.co.jp/>

お問い合わせ

カフェ英会話株式会社 コーポレートコミュニケーション室

広報PR：大林（090-7467-7034）

MAIL：daisuke.obayashi@cafeikaiwa.co.jp

TEL：03-4500-1224